

## 【第1展示室】モチーフを知る ～仏画から肖像まで～

肖像作品には、タイトルからは作者とモデルの関係までを知ることのできないものがあります。例えば、田中太郎の頭像「閑日」。モデルは太郎の師であり、日本近代彫刻の巨匠・平櫛田中（1872～1979）です。太郎は亡くなる2年前、没後10年を経た平櫛の頭像に取り組み、107歳という大往生であった師の晩年の姿を写しました。また、一般的に仏像として、如来、菩薩、明王、天部、高僧などがまつられますが、それぞれにご利益や特徴があります。仙人には操る仙術や作られた理由など、像主にモチーフとなった逸話などの背景があります。

モチーフが何であるか知ることで、少しだけ作品の見方が変わるかもしれません。絵画と彫刻の24点を紹介します。

### 【出品作品】

作品名	種類	作者(生没年)	制作年代	備考
1. 池田文夫氏像	ブロンズ	北村西望(1884～1987)	昭和46年(1971)	☆
2. 自画像	板油彩	田中太郎(1911～92)	昭和29年(1954)	
3. 詩人	石膏	田中太郎(1911～92)	昭和44年(1969)	第9回祭々会展
4. 大観先生頭像	ブロンズ	田中太郎(1911～92)	昭和53年(1978)原型制作	1994ブロンズ化
5. 慈顔(良寛)	木彫	田中太郎(1911～92)	昭和62年(1987)	
6. 閑日	ブロンズ	田中太郎(1911～92)	平成2年(1990)原型制作	原型:第86回太平洋展 1996ブロンズ化
7. 等伯頭像	ブロンズ	田中太郎(1911～92)	平成3年(1991)原型制作	1997ブロンズ化
8. 若き僧S	ブロンズ	渡部 浩(1943～ )	昭和58年(1983)	第13回日彫展奨励賞
9. 聖観音像	木彫	高村光雲(1852～1934)	昭和6年(1931)	☆
10. 観音	木彫	田中太郎(1911～92)	昭和後期(20世紀)	
11. 観世音	木彫	吉田秀鳳(1916～95)	昭和54年(1979)頃	
12. 十一面観世音	木彫	吉田秀鳳(1916～95)	昭和58年(1983)	第3回インド佛跡巡礼記念
13. 観世音画賛	紙本淡彩	富田溪仙(1879～1936)	明治41年(1908)	☆
14. 観世音図	絹本素描	村上華岳(1888～1939)	大正～昭和前期(20世紀)	☆
15. 観世音図	紙本着色	澤田政廣(1894～1988)	昭和37年(1962)	☆
16. 観音図	紙本着色	棟方志功(1903～75)	昭和24年(1949)頃	☆
17. 不動明王八大童子像	紙本着色	長谷川等鶴(1756～1810)	江戸後期(18～19世紀)	
18. 勢多迦童子図	紙本墨画	佐藤朝山(玄々)(1888～1963)	昭和14～23年(1939～1948)頃	☆
19. 不動明王像	木彫	澤田政廣(1894～1988)	昭和15年(1940)	☆
20. 維摩居士図	紙本着色	狩野芳崖(1827～88)	明治19年(1886)頃	☆
21. 地獄極楽図	絹本着色	英 一珪(1759?～1844?) 歌川国貞(1786～1865)	天保7年(1836)頃	☆
22. 鍾馗図	紙本墨画	富田溪仙(1879～1936)	大正～昭和前期(20世紀)	☆
23. 陳希夷睡図	紙本墨画	長谷川信春(等伯)(1539～1610)	桃山時代(16世紀)	石川県指定有形文化財
24. 張果老図	絹本淡彩	下村観山(1873～1930)	昭和3年(1928)	☆

※☆マークは池田コレクションです。

※出品作品は変更の可能性あります。また、作品の目録番号と実際の展示順番は異なります。

会期…平成31年 2月23日(土)～4月21日(日)

開館時間…午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日…毎週月曜日、3/22(金)

観覧料…一般350円(280円)、大高生280円(220円)、中学生以下無料 ( )内は20名以上の団体料金

※2/24(日)は天皇陛下御在位三十年を慶祝し、観覧無料

※国民の祝日は70歳以上の方無料

主催…石川県七尾美術館(公益財団法人七尾美術財団)



## 【第2展示室】 バードパラダイス!!

鳥たちがその翼で大空を飛ぶ姿は古代から人類の憧れの対象でした。鮮やかな羽色は私たちの目を楽しませ、身の回りを飾り、美しいさえずりは荒んだ心を癒してくれます。一方、鳥たちもより安全な場所で巣を作り、多くの食料を得るために、人間の傍で生活することを選択したりするのです。このように鳥は常に人間の身近な存在であり、さまざまな芸術の分野において重要なモチーフとなりました。

当館所蔵品より、「花鳥風月」にも代表される鳥の姿を、絵画・工芸・彫刻作品34点でご覧いただきます。桃山時代から現代までの鳥たちが集う楽園をお楽しみください。そして改めて、身近に観察できる鳥たちに目を向けてみてください。

### 【出品作品】

作品名	種類	作者	制作年代	備考
1. 蓬萊山図	絹本着色	菱田春草(1874～1911)	明治35年(1902)頃	☆
2. 双鶴図	紙本着色	前田青邨(1885～1977)	昭和37年(1962)頃	☆
3. 鶴図	絹本着色	金島桂華(1892～1974)	大正～昭和時代(20世紀)	☆
4. 鶴	紙本着色	上田珪草(1904～85)	昭和後期(20世紀)	
5. 群鶴図屏風	絹本金地着色	水道秋聖(1921～99)	昭和44年(1969)頃	
6. 鶴	木彫	田中太郎(1911～92)	昭和後期(20世紀)	☆
7. 不白茶碗 銘千鶴万亀	陶磁	川上太白(1719～1807)	江戸後期(18～19世紀)	☆
8. 山水花鳥図	絹本着色	松村景文(1779～1843)	江戸後期(19世紀)	☆
9. 孔雀・雲龍図衝立(内 孔雀図)	紙本着色	円山応震(1790～1838?)	江戸後期(19世紀)	☆
10. 虎鷹図衝立(内 鷹図)	紙本着色	多田宅兵衛(1818～79)	江戸後期～明治前期(19世紀)	
11. 深山杜鵑図	紙本墨画	今尾景年(1845～1924)	大正13年(1924)	☆
12. 鶏図	紙本淡彩	小川芋銭(1868～1938)	大正～昭和前期(20世紀)	☆
13. 近代日本画家色紙画帖 帝京編			大正～昭和時代(20世紀)	☆
14. 飛鳩	絹本着色	上田珪草(1904～85)	昭和後期(20世紀)	
15. 漁港冬	キャンバス油彩	天満 勇(1925～2010)	昭和50年(1975)	第61回光風会展
16. 飛ぶカモメ	キャンバス油彩	ジャン・マキシム・ランジュ(1938～2017)	平成10年(1998)	第2回サロン・デュ・プラン美術協会展
17. 鳥	木彫	田中太郎(1911～92)	昭和11年(1936)	再興第23回院展
18. 鳩	乾漆	田中太郎(1911～92)	昭和後期(20世紀)	
19. 金鶏鳥	木彫	吉田秀鳳(1916～95)	昭和51年(1976)頃	☆
20. とり	FRP	中山 実(1960～ )	平成11年(1999)	第31回改組日展
21. 唐津鳥形香合	陶磁		桃山時代(17世紀)	☆
22. 絵唐津花鳥文筒向附	陶磁		桃山時代(17世紀)	☆
23. 織部松鳥図大平鉢	陶磁		桃山時代(17世紀)	☆
24. 鼠志野草花文向附	陶磁		江戸時代(17世紀)	☆
25. 色絵花鳥図捻輪花形小皿 古九谷	陶磁		江戸前期(17世紀)	☆
26. 色絵花鳥図八角鉢 吉田屋窯	陶磁		江戸後期(19世紀)	☆
27. 色絵矮鶏置物	陶磁	初代徳田八十吉(1873～1956)	昭和前期(20世紀)	
28. 朽木流水花鳥図鉢	漆工		江戸時代(18世紀)	☆
29. 沈金花鳥図五段重	漆工		明治前期(19世紀)	
30. 千鳥蒔絵香合	漆工	松田権六(1896～1986)	昭和45年(1970)	☆
31. 象嵌水鳥置物	金工	高橋介州(1905～2004)	昭和時代(20世紀)	☆
32. 象嵌糸印紋水鳥置物	金工	高橋介州(1905～2004)	昭和時代(20世紀)	☆
33. 象嵌雉香炉	金工	高橋介州(1905～2004)	昭和後期(20世紀)	☆
34. 波に千鳥・老松図衝立(内 波に千鳥図)	木工	吉田一雋(1885～1956)	昭和時代(20世紀)	☆